

# 平成31年度（2019年度）事業計画

## I 基本計画

人生百年時代を迎えた我が国は、過る5月1日 新元号を制定し我々国民に新たな希望を与え、さらに2020年開催予定の東京オリンピックの準備は華やいだムードを醸し出しております。他方、少子高齢化に伴い労働不足を生じ多く外国人労働者の受け入れや、加えて、若者の都市部集中化により、地方に住む者にとっては、数少ない青年層・壮年層で、多くの高齢者を支えて行かなければならない事態を生じ、益々人口の減少をもたらし、納税者が減れば、行政サービスが低下することが懸念される社会現象となっています。

下関市の人口ピークは、昭和55年に325千人でしたが、現在では264千人と減少を続け、さらに65才以上の高齢者が間もなく2人に1人となりつつあります。

このような状況下にあつて、元気な高齢者の就業に取り組む当下関市シルバー人材センターは、企業の定年延長等による人手不足の厳しい社会環境の中にあつても会員を増強し、就業機会を拡大していく事が急務であります。又、シルバー人材センターの会員は今まで培ってこられた技能と経験を生かし社会に貢献する人的な組織として、それぞれ地域の要望に応える為に、存在感を発揮していく必要がございます。

そのため今年度においても、公益社団法人として「第4次中期基本計画」の目標実現に向け、会員と役職員が一丸となり地域社会の発展をめざし事業運営に取り組みます。

## II シルバー事業計画

### (1) 新規会員の増強及び就業機会の拡大

シルバー事業を充実させるためには、会員の増強と就業の拡大が最も重要です。これにより地域や地元企業の要望に応え、多くの会員に、働きがいと生きがいを提供し地域に貢献してまいることが可能となります。

会員増強のため、事務所から地域に出向いての新会員加入促進並びに会員の皆様が新会員の加入紹介をして戴くいわゆる「一人一加入運動」の推進と共に退会会員の減少に努めます。

### (2) 労働者派遣・有料職業紹介事業の拡大

シルバー労働者派遣事業とは、会員が企業等へ派遣労働者として派遣先の指揮命令のもと就業を行うものですが、既に当センターでは多くの会員の皆様がスーパー業務やスクールバスの運転等へ派遣労働者として勤めておられます。

今年度は特に女性会員の活躍の場を広げるために、介護や保育など現役世代を支える人手不足を補う分野への派遣に取り組みます。

また、有料職業紹介事業にもそれぞれ対応していきます。

### (3) 安全就業の推進

シルバー会員にとって日々大切な事は「安全確保は最優先の課題である」ということで、「安全=自己管理」の意識を強く持つ事に組織を挙げ努めます。

これが為、法令遵守はもとより、安全管理委員会が中心となつての安全パトロールによる安全指導、安全就業に必要な各種研修会、日々の健康管理や高齢者の交通安全に関する広報活動に努めます。

#### (4) 適正就業の推進

シルバー会員は「仕事を仲間と分かち合って就業する事」が必要で、希望職種を参考に就業に必要な技能経験を活かした就業機会の紹介を行い、就業の時間及び期間を基準要綱に従い適正就業に努めます。

#### (5) 普及啓発活動の推進

高齢者がシルバー人材センターの会員として、積極的に地域社会へ出ていき、地域や企業の多様なニーズを汲んで就業機会が得られるように手を組んで行く為の活動で、それのためにはPRが必要であり、地域の各企業への訪問や広報紙「よろこび」の年4回の発行また、ホームページ等の活用により普及啓発活動の推進に努めます。

#### (6) ボランティア活動の実施

公益社団法人として、奉仕活動は大切に清掃やボランティア活動を行い、より地域貢献に努めます。

#### (7) 組織体制の強化

シルバー人材センターは会員を中心に、働く事により体を動かし社会とつながり、仲間ができて、健康で長生きができ、さらなる高齢を迎えてもボランティアや趣味の活動ができる等メリットがあります。地域社会に超高齢化社会におけるシルバー人材センターの意義、役割を理解して戴く為に理事会・各専門委員会の組織体制の強化に努めます。

### Ⅲ 法人管理事業

年間主要会議

定 時 総 会	年 1 回
理 事 会	年 4 回以上
総務運営委員会	年 2 回以上
事業推進委員会	年 2 回以上
安全管理委員会	年 2 回以上
就業調整委員会	年 1 回以上
普及啓発推進委員会	年 2 回以上